

バイオセーフティレベル2の菌株の取り扱い注意事項

1. 実験室の設計:特に必要としない
2. 物理的封じ込めの設備
 - 1) 安全キャビネット:エアロゾルを発生しやすい装置の利用は安全キャビネット内で操作する。
 - 2) オートクレーブ:滅菌のためのオートクレーブが同一建物内になければならない。
3. 実験における注意
 - 1) 実験室:実験中はドアを閉める。
 - 2) 作業台:毎日表面を消毒し、汚染した時は汚染部位を直ちに消毒する
 - 3) 使用済み材料:必ず消毒(滅菌)してから廃棄、または洗浄する。
 - 4) ピペット操作:原則としてオートピペッターを用いる。
 - 5) 飲食、喫煙:実験室内では禁止する。
 - 6) 手指の洗浄・消毒:作業後必ず手洗い・消毒を行う。
 - 7) エアロゾル:発生を避けるよう注意する。エアロゾルの発生しやすい操作は安全キャビネット内で行う。
 - 8) 消毒(滅菌):実験室から離れた場所で消毒するときは、蓋できる漏れのない容器に入れて運ぶ。
 - 9) 実験者:特定の許可されたもののみが実験を行う。
 - 10) 外来者実験室内への立ち入りを禁止する。
 - 11) 防虫、防鼠:実験室への昆虫、ネズミなどの侵入を防ぐ。
 - 12) 作業衣:専用の作業衣を着て実験する。作業衣は実験室外では着用しない。汚染した衣服などは適当な方法で滅菌または消毒する。
 - 13) 注射器:使用せざるを得ないときには針刺し事故に十分気をつける。
 - 14) 実験室の清掃:実験室を清潔に保ち不要のものを置かない。
 - 15) 別の実験:危険度のより少ない実験を同一実験室内で行ってよいが、実験が行われていることを周知徹底させる。